個 別 事 業 計 画 書

所管部署:美山支所 産業建設課

(単位:千円)

事 業 名	特別栽培認証制度推進事業	細事	事 業	名			新継区分	継続事業
総合振興計画の位置づけ	第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る				食料・農業・農村基本法			
	3 南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる			根拠法令等	有機農業の推進に関する法律			
	(2)南丹ブランドの販路拡大							
事業計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 25 年度		年度	当該年度にお	おける事業の実施内容	当該年度に目指	旨す成果・効果	事業費
	需給調整について、特に冬から春先にかけての供給量		平月	成22年度 予算	1,674			
現状の課題	不足が課題。また生産者の高齢化が進み、後継者の確保が大きな課題。	平 成 23		独自栽培基準によるブランド化で特色 ある産地づくりを行う特別栽培認証制 度の普及活動、販売促進、宣伝活動等 を推進する。		認証野菜栽培農家40戸 認証野菜販売額 6,600,000円 独自の栽培基準により、消費者に 安心感と信頼感のある農産物とし て確立し、野菜のブランド産地とし て農家所得の向上を図る	1,674	
具体的な実施 内 容	消費者ニーズに合わせた安全・安心な野菜づくりのための独自栽培基準によるブランド化によって、特色のある産地の形成を行う。その制度の普及活動、販売促進、HPの管理運営業務を行う。	各計画年度ごとの	年度					
			平 成 24 年	ある産地づくり	によるブランド化で特色 を行う特別栽培認証制 、販売促進、宣伝活動等	認証野菜栽培農家 認証野菜販売額 独自の栽培基準に 安心感と信頼感の て確立し、野菜のこ て農家所得の向上	6,600,000円 こより、消費者に ある農産物とし ブランド産地とし	1,674
事業の目的	消費者ニーズに合わせた減農薬有機野菜づくりのため の独自基準によるブランド化によって、特色のある産地 の形成を行う。	安と目標・事業費 エ 5 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	度			\$ 100 AS 1/1 19 \$ 2 19 \(\text{L}		
事業の効果	独自の栽培基準により、消費者に安心感と信頼感のある農産物として確立し、野菜のブランド産地として農家所得の向上を図る。		平成25年度	ある産地づくり	によるブランド化で特色 を行う特別栽培認証制 、販売促進、宣伝活動等	安心感と信頼感の て確立し、野菜の	6,600,000円 こより、消費者に ある農産物とし ブランド産地とし	1,674
事業の効果			25年度			て農家所得の向上を図る		